

# 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 最終報告 魚津市

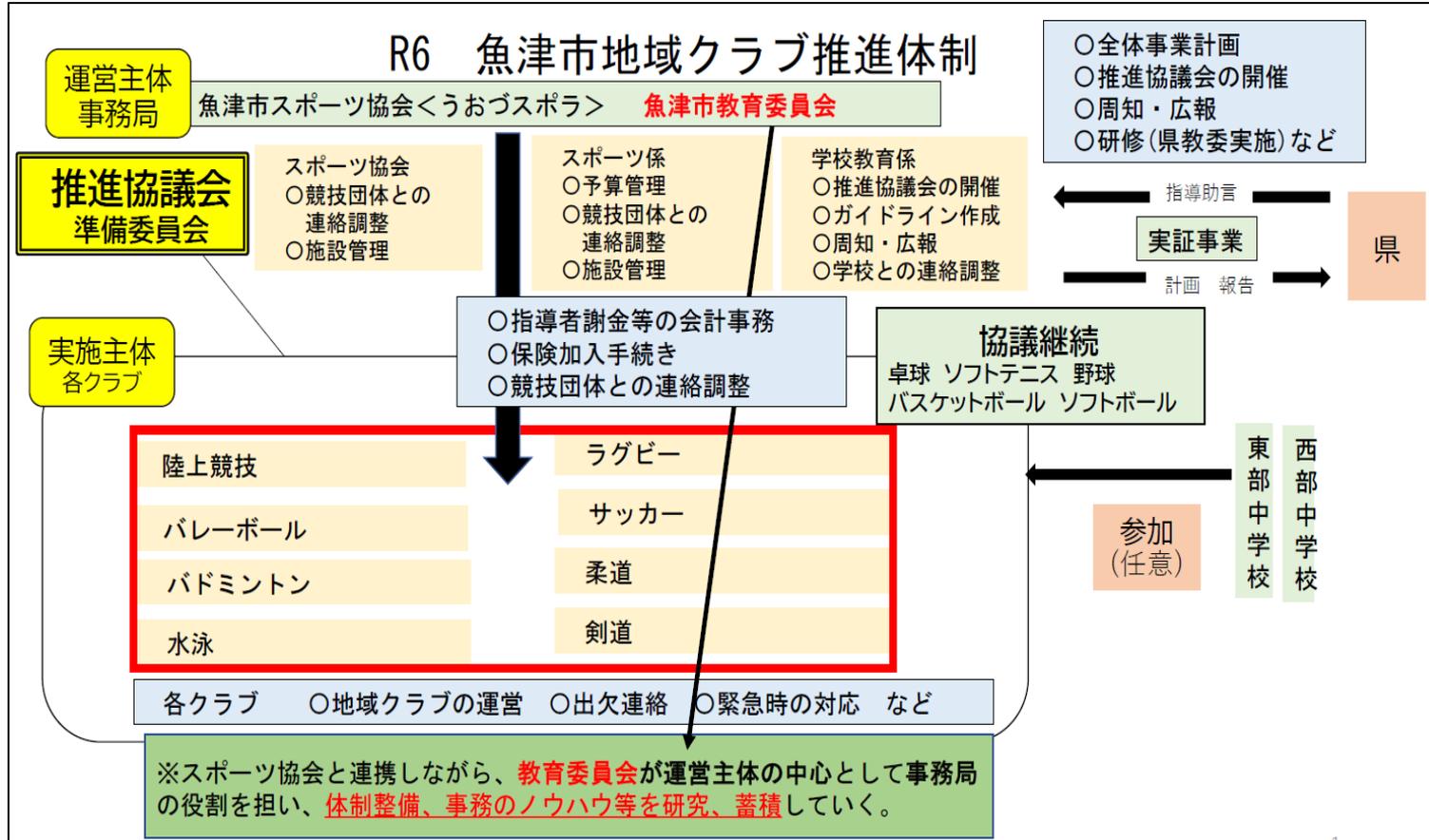
## 1. 基本情報

### 基本情報

中学校数	2校	休日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	2校	平日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	2校	協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
中学校生徒数	866人	休日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	18部活	平日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	7部活	推進計画・ガイドライン等の策定状況	ガイドライン策定済
部活動数	39部活	休日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	8クラブ	平日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	3クラブ	休日の部活動の完全移行予定年度	令和8年度中

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図



#### ▼運営体制組織内での役割分担

##### 教育委員会 スポーツ係

- ・県教育委員会との連絡調整 ・予算管理
- ・会計業務(謝金支払い 保護者参加費徴収)
- ・スポーツ協会 地域クラブ との連絡調整
- ・施設管理 等

連携 ↔ 情報共有 共同事務作業

##### 教育委員会 学校教育係

- ・全体事業計画 ・ガイドラインの作成
- ・推進協議会、保護者説明会の開催
- ・周知・広報 ・学校との連絡調整 等

##### 市スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ

- ・競技団体との連絡調整 ・施設管理
- ・地域移行に向けた試行 教室の推進
- ・既存クラブとの連絡調整 等

##### 中学校

- ・学校施設利用の連絡調整
- ・保護者への周知・広報の協力(HP メール等)

##### 推進協議会

情報共有 合意形成 意見聴取

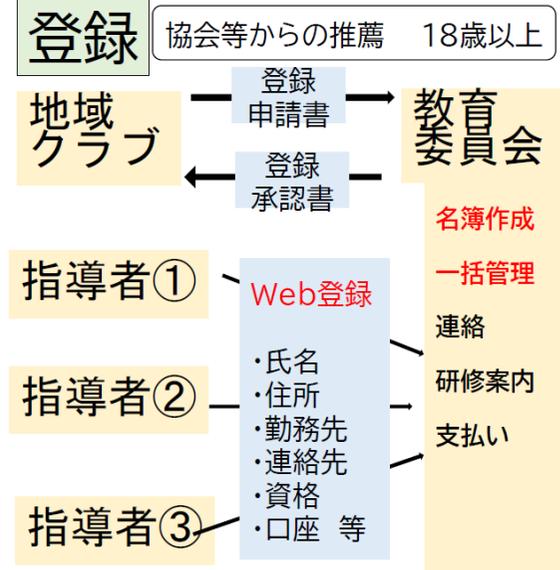
## 2. 実証内容と特色

### 実施地域クラブ

競技【クラブ名】	活動日 時間 場所	参加生徒	登録指導者	参加費／月	備考
1 水泳 【魚津スイミングクラブ】	土曜 18:00~20:00 市室内温水プール	4	5	¥1,000	
2 サッカー 【KSS.UOZU U-15】	木曜 18:00~20:00 土日のうち1日 3時間程度 東西中学校グラウンド	25	6(2)	¥1,500	クラブで大会参加
3 ラグビー 【魚津RFCジュニア】	火木 19:00~20:30 土日のうち1日 3時間程度 西部中・吉田グラウンド	12	5(1)	¥1,500	土日 富山県選抜の練習への参加
4 柔道 【魚津柔道クラブ】	土曜 10:00~12:00 東西中武道場	11	5(1)	¥1,000	
5 剣道 【魚津剣道会】	土曜 18:00~19:30 旧大町小体育館	17	14(1)	¥1,000	希望者 21:00まで一般の練習参加可 中体連の大会以外 魚津剣道会で参加
6 バドミントン 【魚津市バドミントンクラブ】	月2回 土日のいずれか3時間程度 東西中学校体育館	35	8	¥500	参考 スポラ ジュニアバドミントン 29名 クラブで大会参加 (地域クラブ重複6名 市外1名)
7 陸上競技 【MT.SUPOLA】	土曜 9:00~12:00 桃山陸上競技場	10	7	¥1,000	参考 スポラ MT.SUPOLA 25名 クラブで大会参加
8 バレーボール 【ファンバレーボールヤマ】	月曜 19:00~21:00 水曜 19:00~21:00 土日のうち1日 3時間程度 東西中学校体育館	33	7	¥1,500	クラブで大会参加 (市外2名)  ※平日1回分は独自活動

147 57(5) ( )は教員

### 指導者について



### 資格

指導者資格取得を**推奨**→希望者には**補助**

- **有資格指導者 34名/57名 全体の約6割**  
(有資格指導者0人のクラブなし)

### 研修

- 研修受講の原則  
2年間で**県教委主催の研修**(①コンプライアンス  
②救命講習)を受講

### 謝金・交通費

4か月ごとの実績報告 → 年3回 個別に支給

- 謝金…1時間 1600円 実績簿30分単位で報告  
練習 土日…3時間まで 平日…2時間まで  
公式大会等の場合 別途取り決め
- 交通費…一律 1回 300円  
市外への練習試合・大会等の交通費 上限 1200円

資質向上の  
機会

### 取組スケジュール

#### 【R5の取組】

- 4月 **先行実施2種目(バレーボール、陸上競技)**の活動開始
- 5月 競技団体(13競技)との個別の意見交換
- 6月 準備委員会の開催(市教委 学校 体育協会)
- 7月 **生徒・保護者アンケート**(対象…中学1、2年)Web  
**第1回推進協議会**の開催
- 9月 バドミントン試行開始
- 10月 市PTA連合会への説明 **競技団体意向調査**
- 1月 **第2回推進協議会**の開催  
学校と競技団体との懇談
- 3月 **第3回推進協議会**の開催 **市ガイドライン**発出  
**保護者説明会の開催(説明会の動画配信)**  
中学1・2年生 地域クラブ加入手続き  
指導者登録手続き(電子申請)

#### 【R6の取組状況・予定】

#### 実証事業開始

- 4月 **8地域クラブ活動開始**  
新入生 地域クラブ加入手続き(電子申請)
- 5月 新入生 地域クラブ活動開始
- 6月 減免申請手続き(電子申請)
- 7月 **生徒・指導者アンケート**の実施(Web)
- 8月 **第1回推進協議会**の開催  
(地域クラブ活動の現状 今後の取組の方向性)
- 9月 卓球試行開始
- 10月 保護者アンケート実施(Web)
- 2月 **第2回推進協議会**の開催  
(R6成果と課題 R7実施計画 等)
- 3月 **新入生保護者説明会 動画配信**  
生徒地域クラブ加入手続き 指導者登録手続き  
(電子申請)

## 3. 工夫点と成果

## 工夫点

- (1) 保護者負担** 【保険代】年額800円 【参加費】指導者謝金の一部に充当 → 公費との割合 約 4:1  
 ○参加費の基本額 → 活動頻度で設定 月500円 1,000円 1,500円 ※R5保護者アンケートを根拠  
 ○支払い→原則年2回 事務局から納付書送付 → 金融機関にて支払い → 市の会計に  
 ○経済困窮世帯への対応 メールで案内→就学援助家庭はフォームで申請→教育総務課で確認→半額免除通知→納付書に反映
- (2) ICTの活用** 事務負担の軽減  
 ○電子申請システム…地域クラブ加入手続き 指導者登録  
 ○フォーム…①生徒アンケート ②保護者・指導者アンケート ③就学援助家庭の減免申請  
 ○その他…①地域クラブ実績報告(個別の実績申請不要) 印なしメール添付で提出 ②YouTubeでの説明会動画
- (3) 保護者説明会**  
 ○時期・対象 3月に実施 対象→地域クラブ実施競技の部活動の1.2年保護者と 小学6年生の保護者 希望者  
 ○開催場所 ありそドーム産業展示ホール(駐車場 教員の負担)  
 ○内容 前半:事務局から概要・加入方法等について説明 後半:地域クラブごとに8つのブース 詳しい説明や質疑応答
- (4) その他** 推進協議会の資料及び記録のHP掲載

## 成果

- (1) 活動環境の整備** → ニーズに応じた取組 R6 8競技の地域クラブ  
 ・単独校でのチーム編成ができないサッカー、バレーボール → 東西中学校合同の地域クラブ → 活動機会の確保 大会出場  
 ・生徒アンケートより(R6.7実施) 「地域クラブの活動に満足しているか」→とても満足+どちらかと言えば満足 約8割  
 ※指導者アンケート(R6.7実施) 「地域クラブの指導・活動に満足しているか」→とても満足+どちらかと言えば満足 約2/3
- (2) 事務負担軽減に向けた取組** ICT活用による事務→事務局の負担軽減 ノウハウ引き継ぎ→持続可能な運営に向けた研究
- (3) 教員の時間外勤務の縮減** 1ヶ月あたりの休日の時間外勤務時間(4月～12月の平均を比較)

全教員 平均 (57人)		
R6	R5	R4
7:41	12:31	15:46

8競技の顧問 平均 (28人)		
R6	R5	R4
4:08	10:49	16:26

休日 地域移行実施の8競技  
 水泳 サッカー ラグビー 剣道 柔道  
 バドミントン 陸上競技  
 バレーボール

# 4. 課題解決に向けて、今後の方向性

## 課題解決に向けて

### (1) 周知・広報活動の工夫

・教育委員会HPに協議会の資料や記録を掲載しているが、「**地域クラブの魅力のアピールする工夫**」が必要との指摘があった。  
 →総合型地域スポーツクラブと連携した広報活動、保護者説明会の工夫、説明リーフレット等で積極的に発信していく。

### (2) 市内外の既存の地域クラブとの連携の在り方

・市内にはスポーツ協会や民間が運営する既存のクラブがある。競技力向上という面で大きな成果を上げているが、市の運営する地域クラブと比較して、待遇や経済困窮世帯への対応等に差がある。  
 →まずはスポーツ協会が運営するクラブと協議を進め、困窮世帯への対応や消耗品等の**支援の在り方について検討**していく。

### (3) 受益者負担の在り方

・改革推進期間後の経費負担について見通せない状況であり、徴収の仕方も含め、費用負担の在り方を今後考えていく必要がある。  
 →今後、私費(保護者負担)と**公費の適切なバランス**について、先進市町の取組を参考にしながら研究していく。

### (4) 文化部(吹奏楽部)の地域移行

・吹奏楽部の地域移行には、スポーツとは別の課題(楽器の運搬 警報システムの解除 指導者等)があり、すぐに合同の地域クラブを設立することは困難である。  
 →まずは、部活動指導員の配置等の部活動の**地域連携**をすすめ、生徒の活動環境の整備や教員の負担軽減を図る。

### (5) 今後の推進体制の構築

・現在、教育委員会が運営主体の中心となって事務局の役割を担っているが、持続可能という点、生涯スポーツ環境の整備という点から、推進体制のアップデートが望まれる。  
 →**スポーツ協会との役割分担**の在り方を協議し、できるところから業務を移管していく。

